

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

ソフトバンク株式会社

2020年8月4日

免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2021年3月期 第1四半期 連結業績

売上高

[億円]

11,010

11,649

11,726

2018年度Q1

2019年度Q1

2020年度Q1

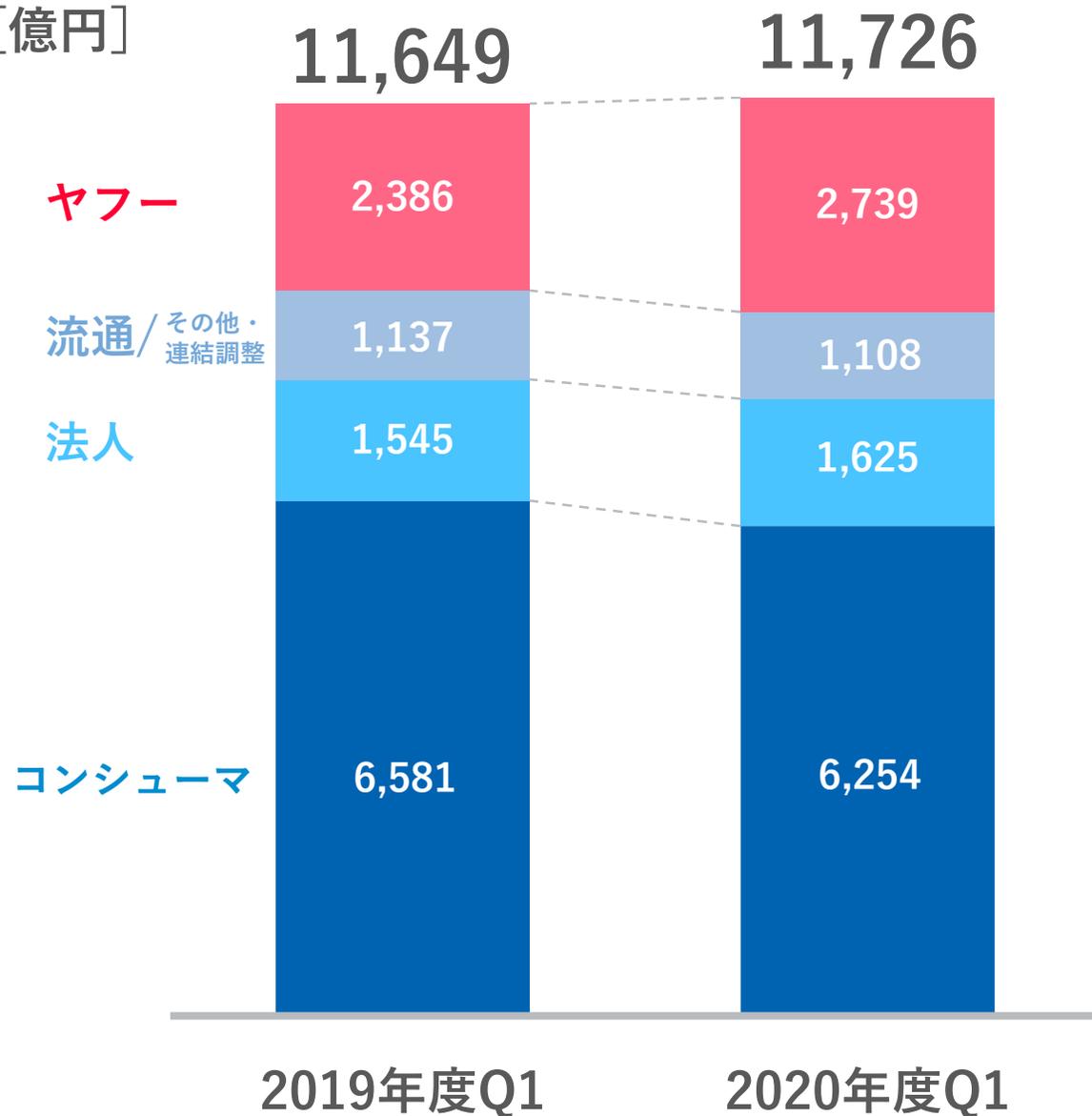
コロナ禍でも 増収継続

(注) 2018年度実績は、Zホールディングス株式会社(旧ヤフー株式会社)を連結子会社化した影響の遡及修正を実施しています。

(注) 本資料では、Zホールディングス株式会社を便宜上「ZHD」と表記する場合があります。また、当社開示におけるセグメント名は「ヤフー」となります。

売上高 セグメント別

[億円]



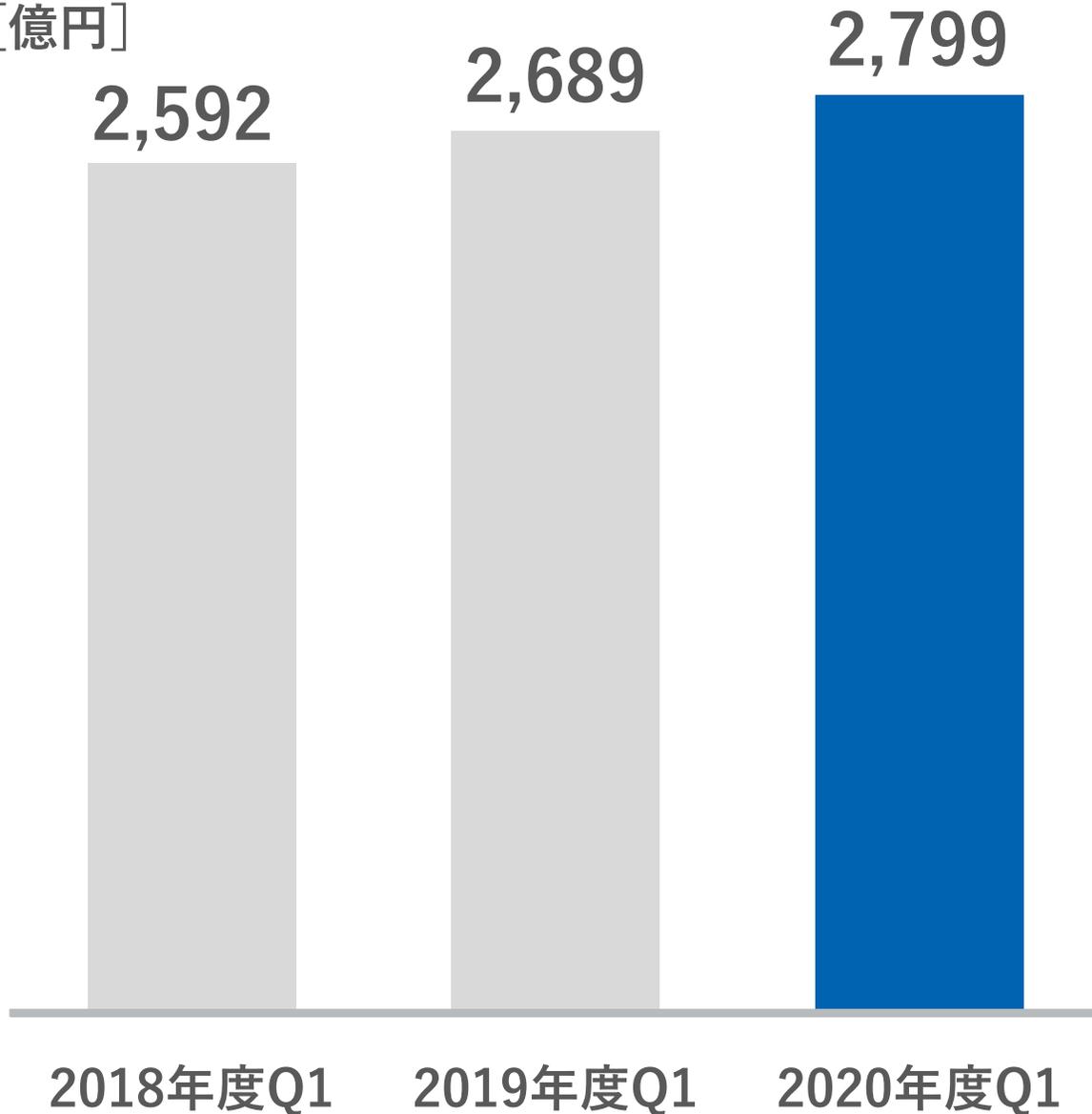
端末販売減などにより
コンシューマは減収も

ヤフー・法人が増収

営業利益

SoftBank

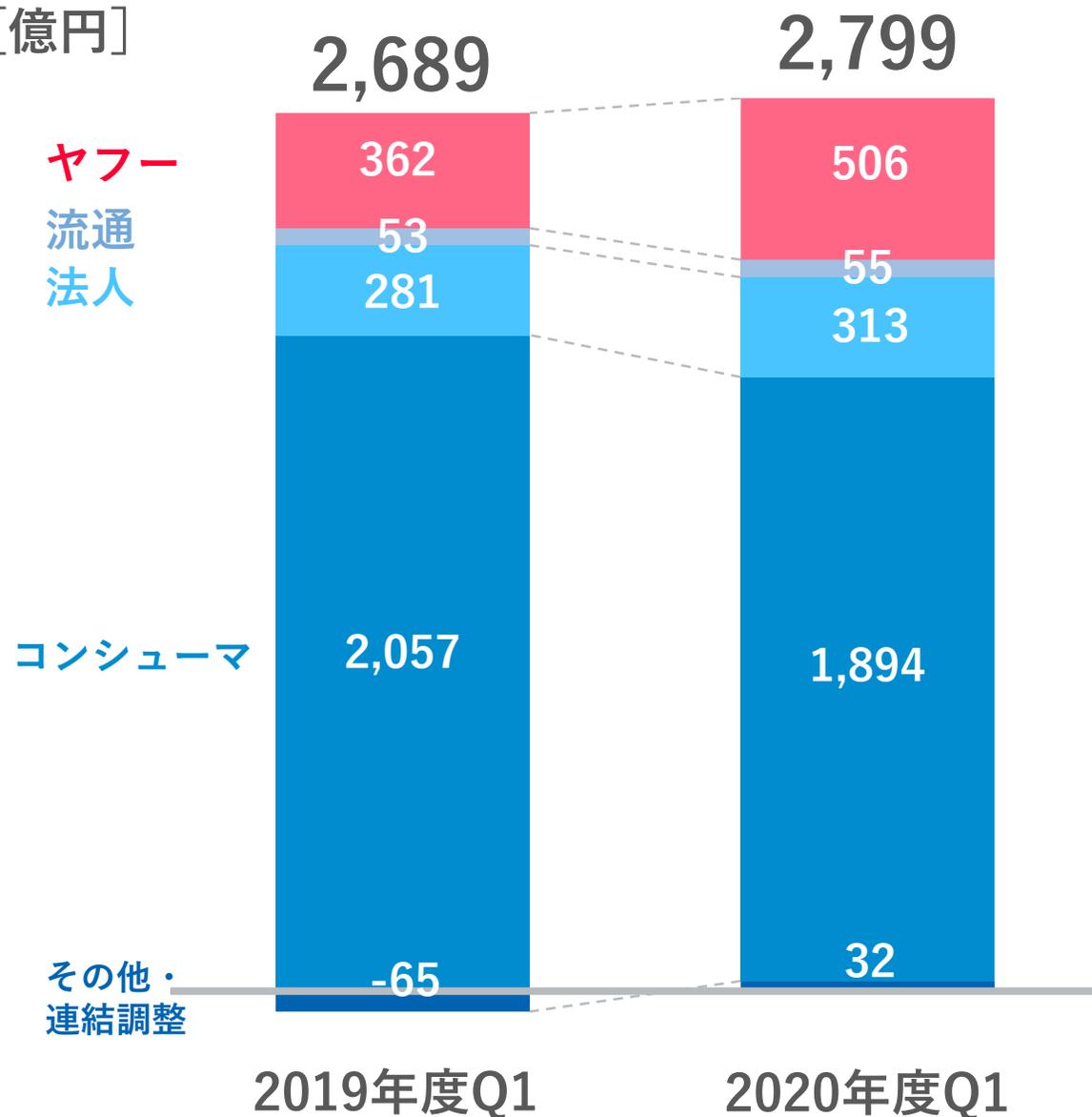
[億円]



4%増益

営業利益 セグメント別

[億円]



ヤフー・法人が
増益に貢献

調整後フリー・キャッシュ・フロー

[億円]

2,363

IFRS
第16号影響

1,590

IFRS
第16号影響

1,280

2,023

49%増

2018年度Q1

2019年度Q1

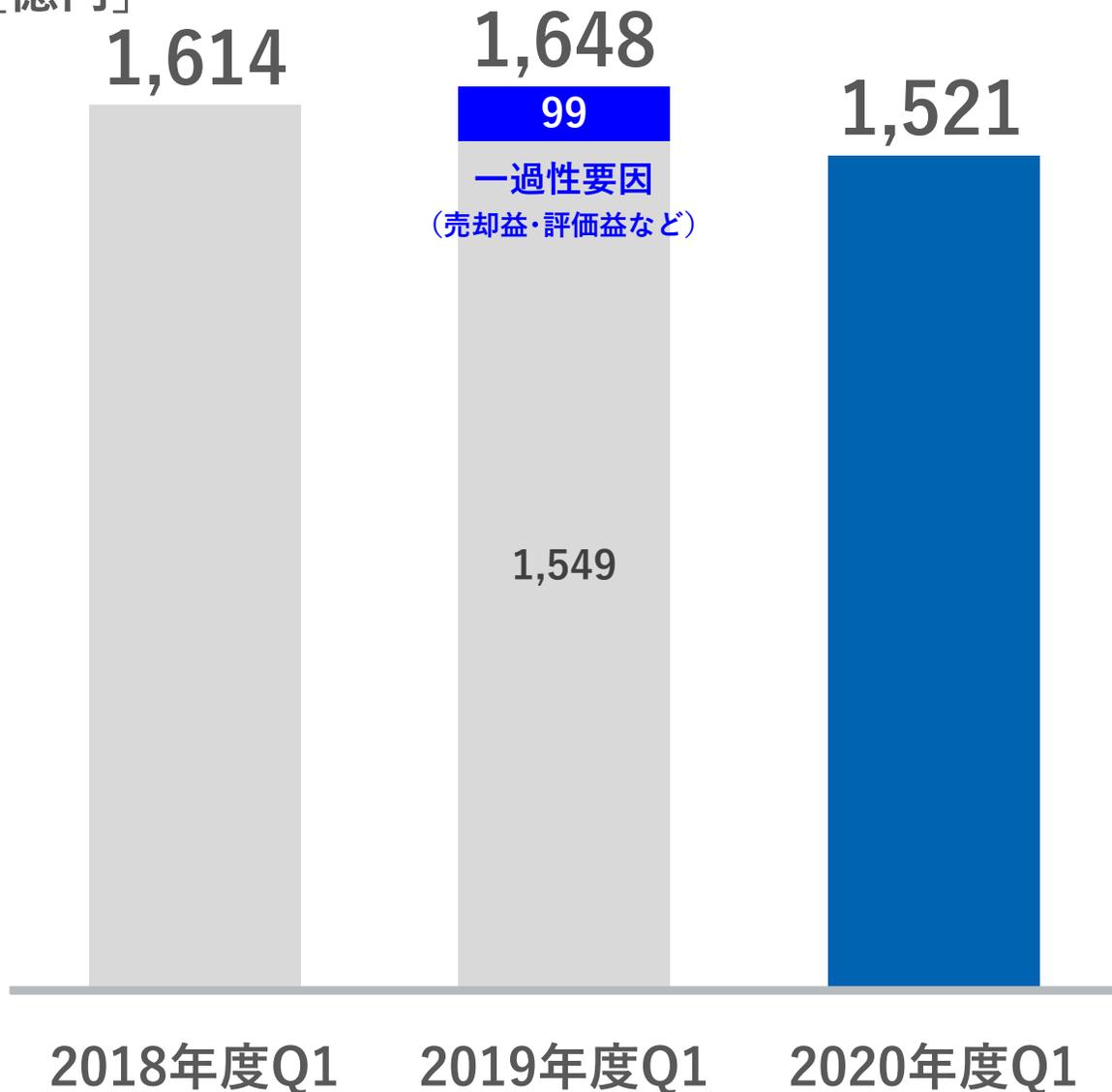
2020年度Q1

(定義) 調整後フリー・キャッシュ・フロー＝フリー・キャッシュ・フロー±ソフトバンクグループ株式会社との一時的な取引+(割賦債権の流動化による調達額-同返済額)

(注) Zホールディングス株式会社を除きます。

純利益

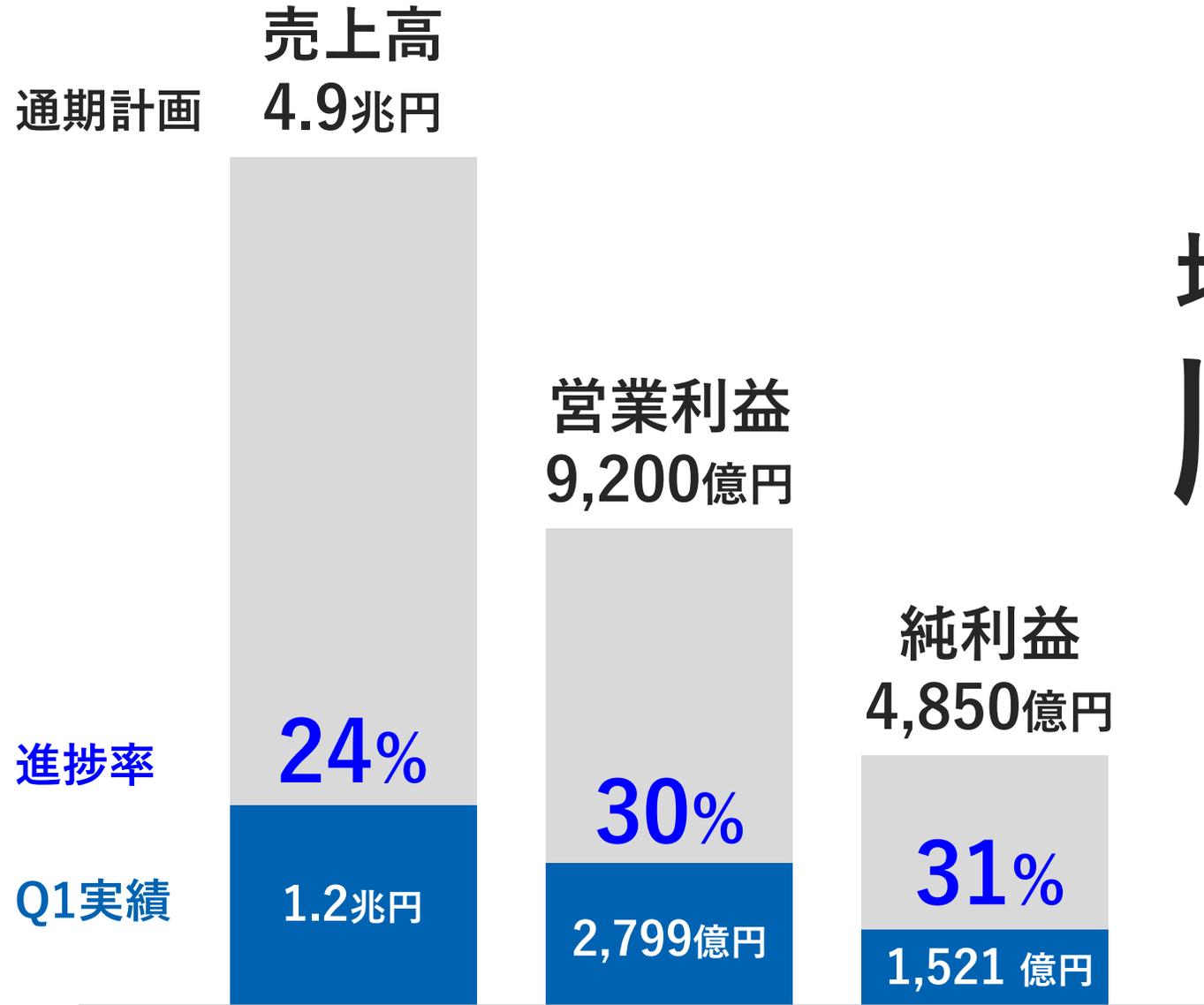
[億円]



昨年の一過性要因を除くと

横ばい

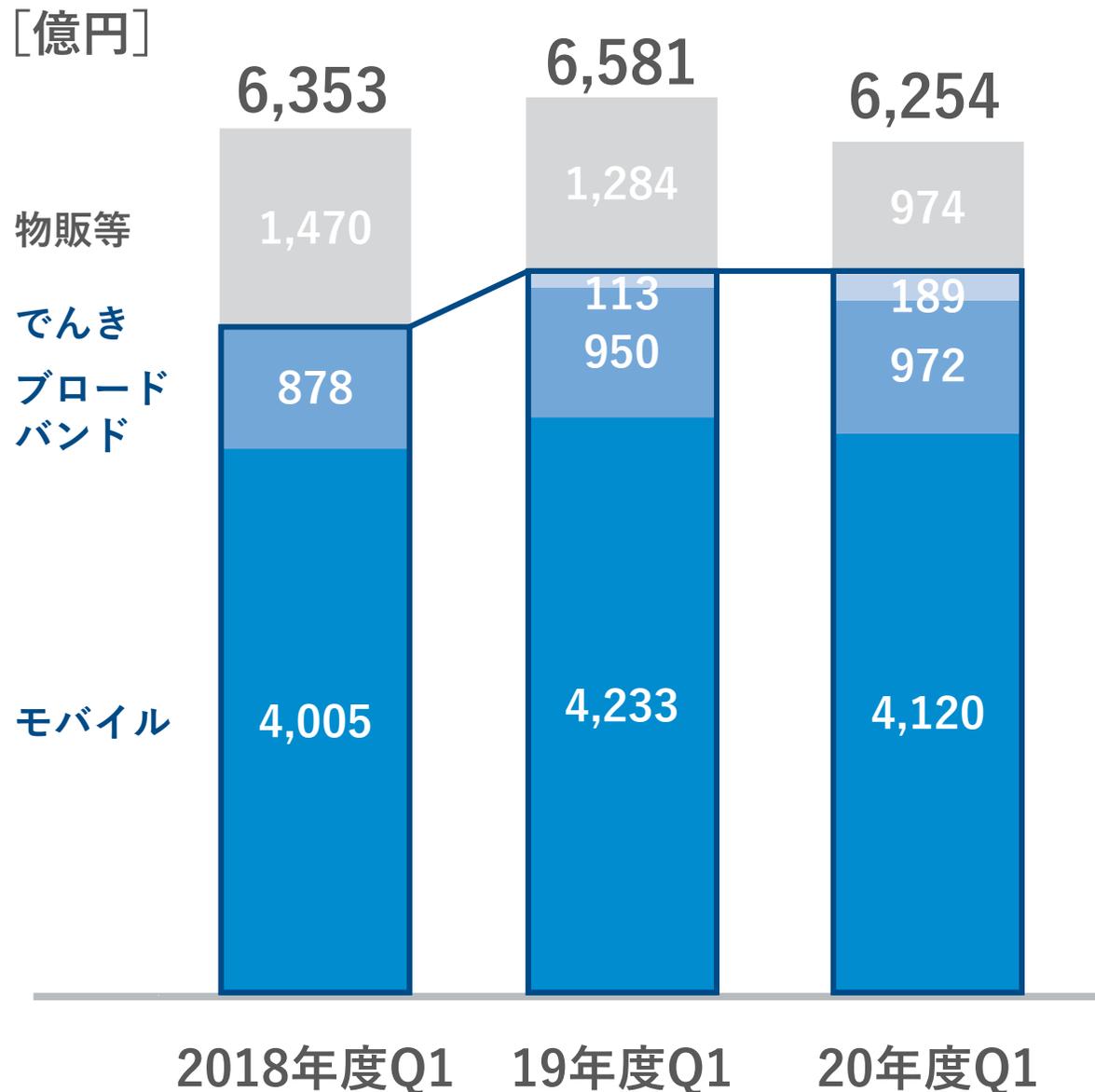
計画対比 進捗率



増収・増益に向けて
順調に進捗

事業別概況

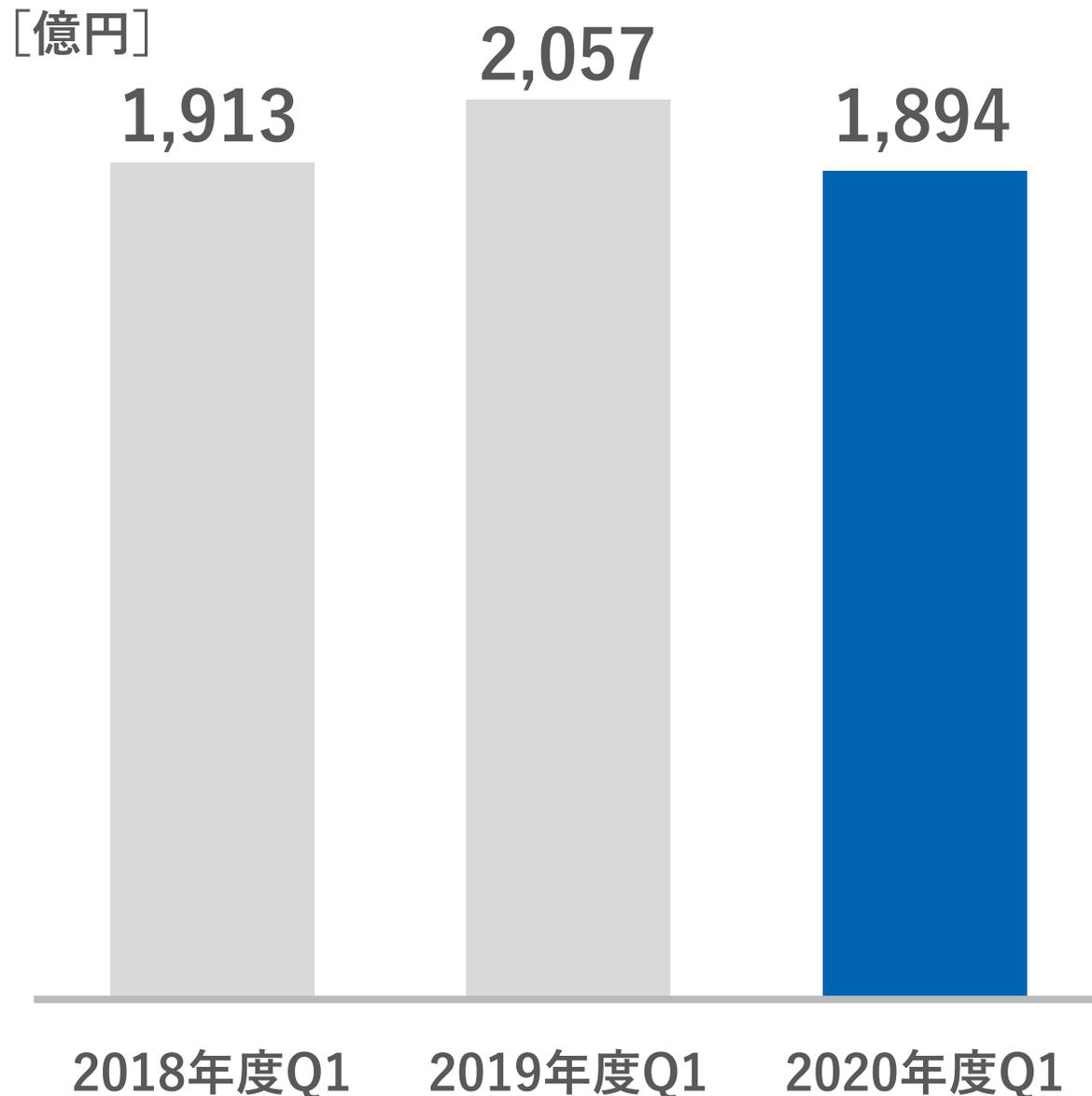
コンシューマ事業 売上高



端末販売減少もサービス売上は
前年並み維持

(定義)サービス売上：モバイル売上、ブロードバンド売上、でんき売上の合計
(注) 2020年度より「物販等売上」に含めていた「でんき」を別掲したことに伴い、2019年度に遡って修正を反映しています。

コンシューマ事業 営業利益



通期は増益見込み

一過性要因などによりQ1減益も

ビジネス順調

(スマホ契約数・ブロードバンド契約数増)

増減 (前年同期比) ▲164億

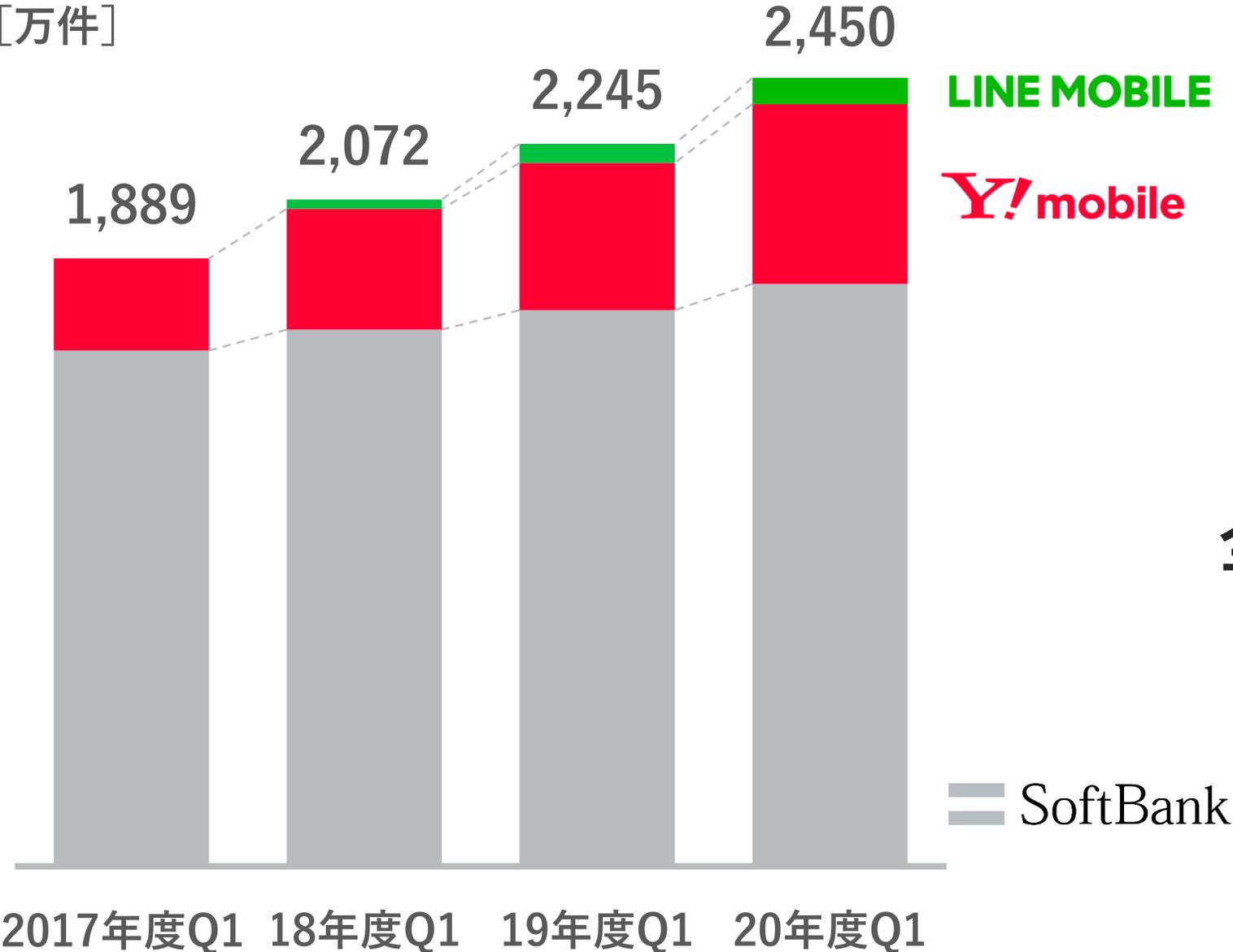
端末関連 (端末関連引当金計上
端末販売減など) ▲120億

「おトク割」影響 (会計基準
変更など) ▲100億

増減 (上記要因を除く) +56億

スマートフォン 累計契約数

[万件]



204万件
純増達成

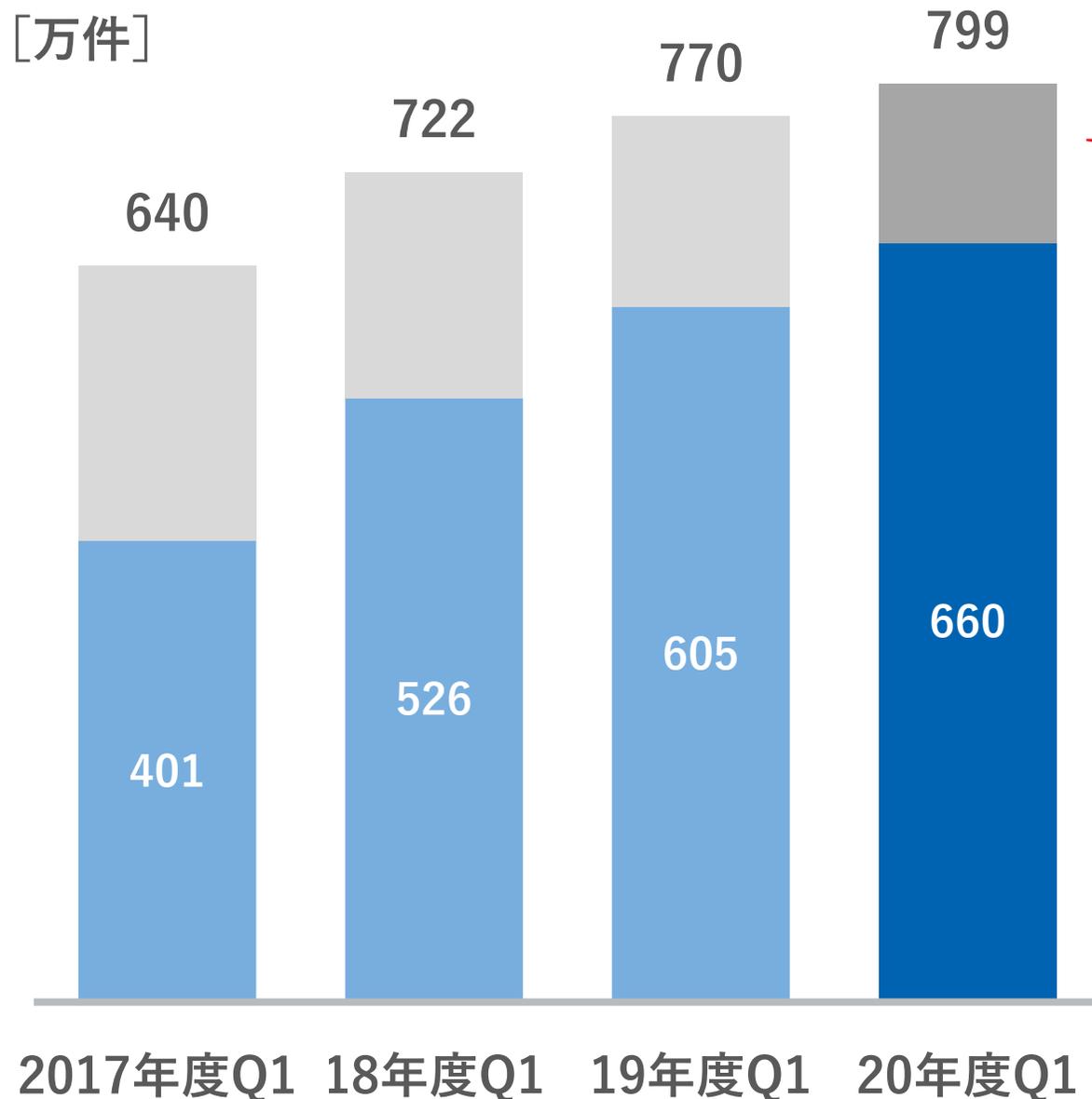
9%増
全ブランド純増

SoftBank

(注) 法人契約を含みます。

ブロードバンド 累計契約数

[万件]



YAHOO! BB
JAPAN Broadband

「ソフトバンク光」

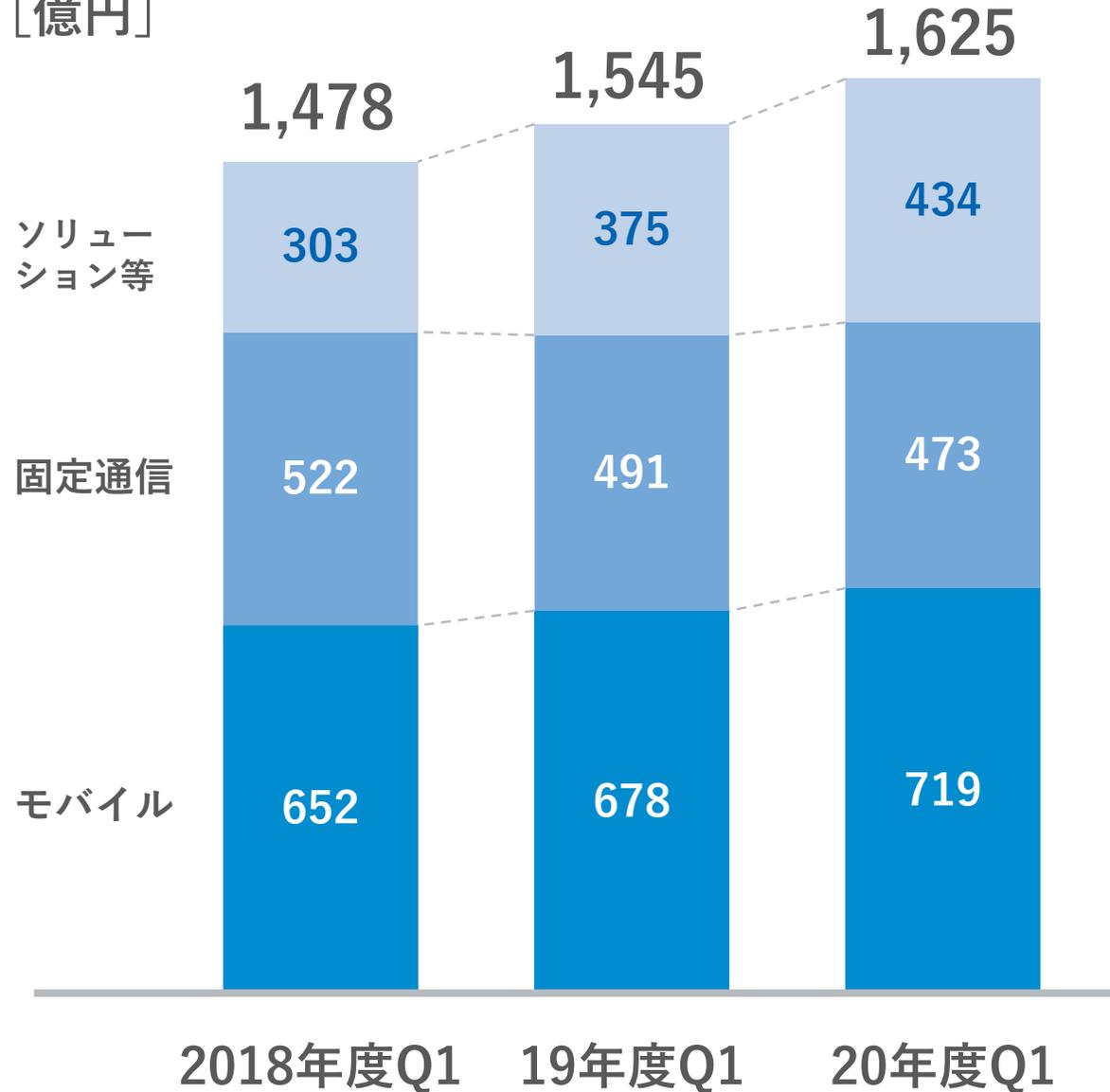
9%増

SoftBank 光

(定義) 「SoftBank 光」契約数は、「SoftBank Air」契約数を含みます。

法人事業 売上高

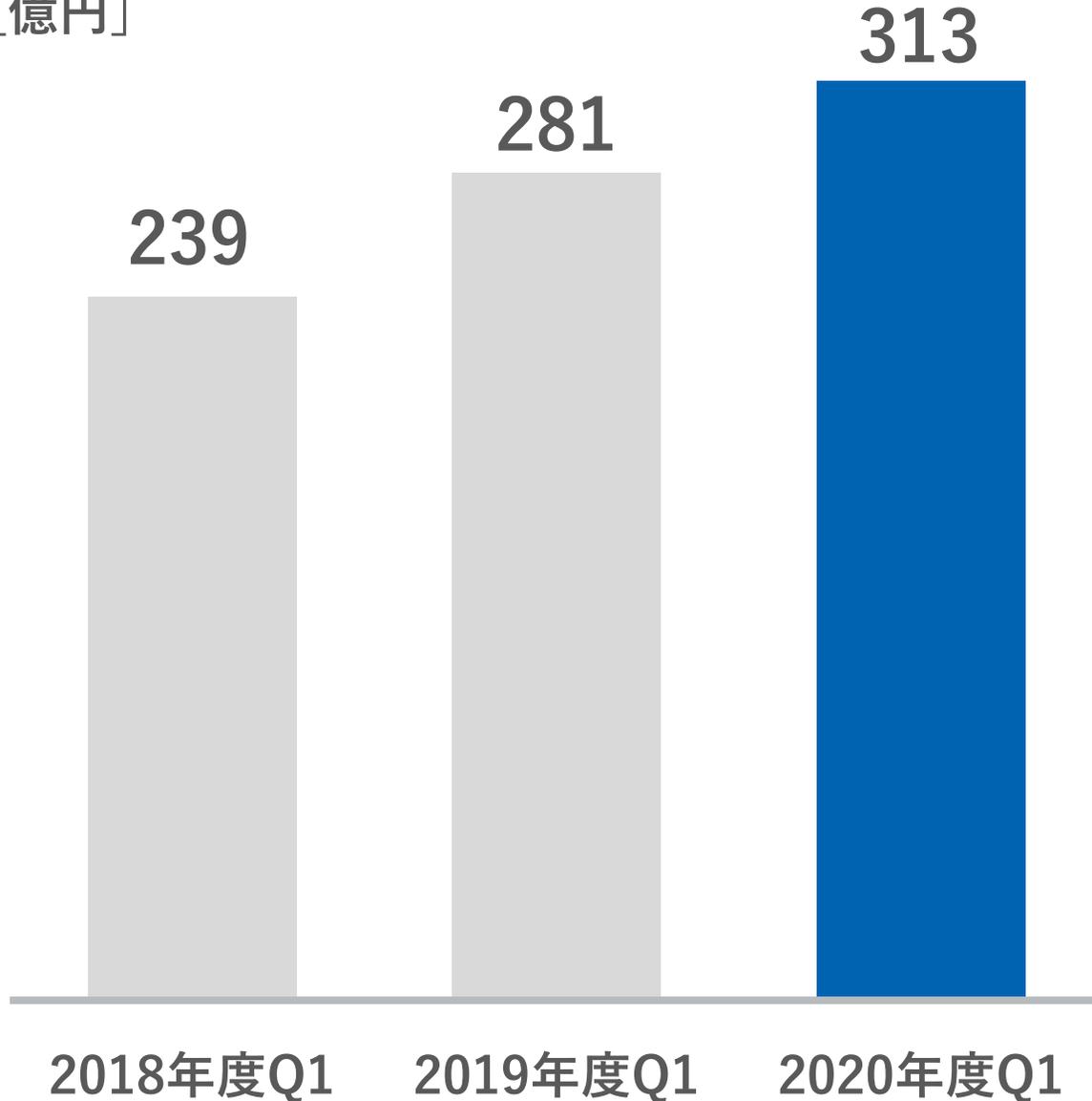
[億円]



5%増収

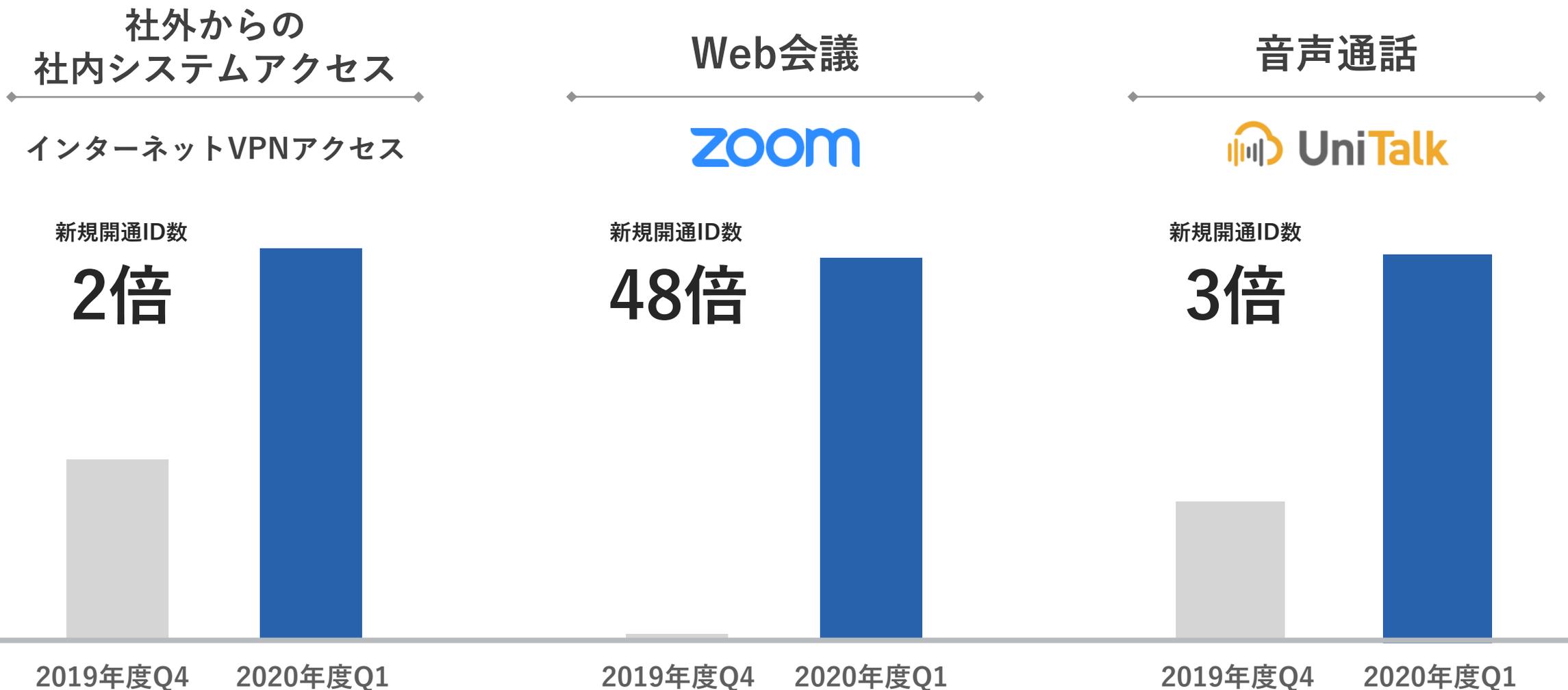
法人事業 営業利益

[億円]



テレワーク需要により
11%増益

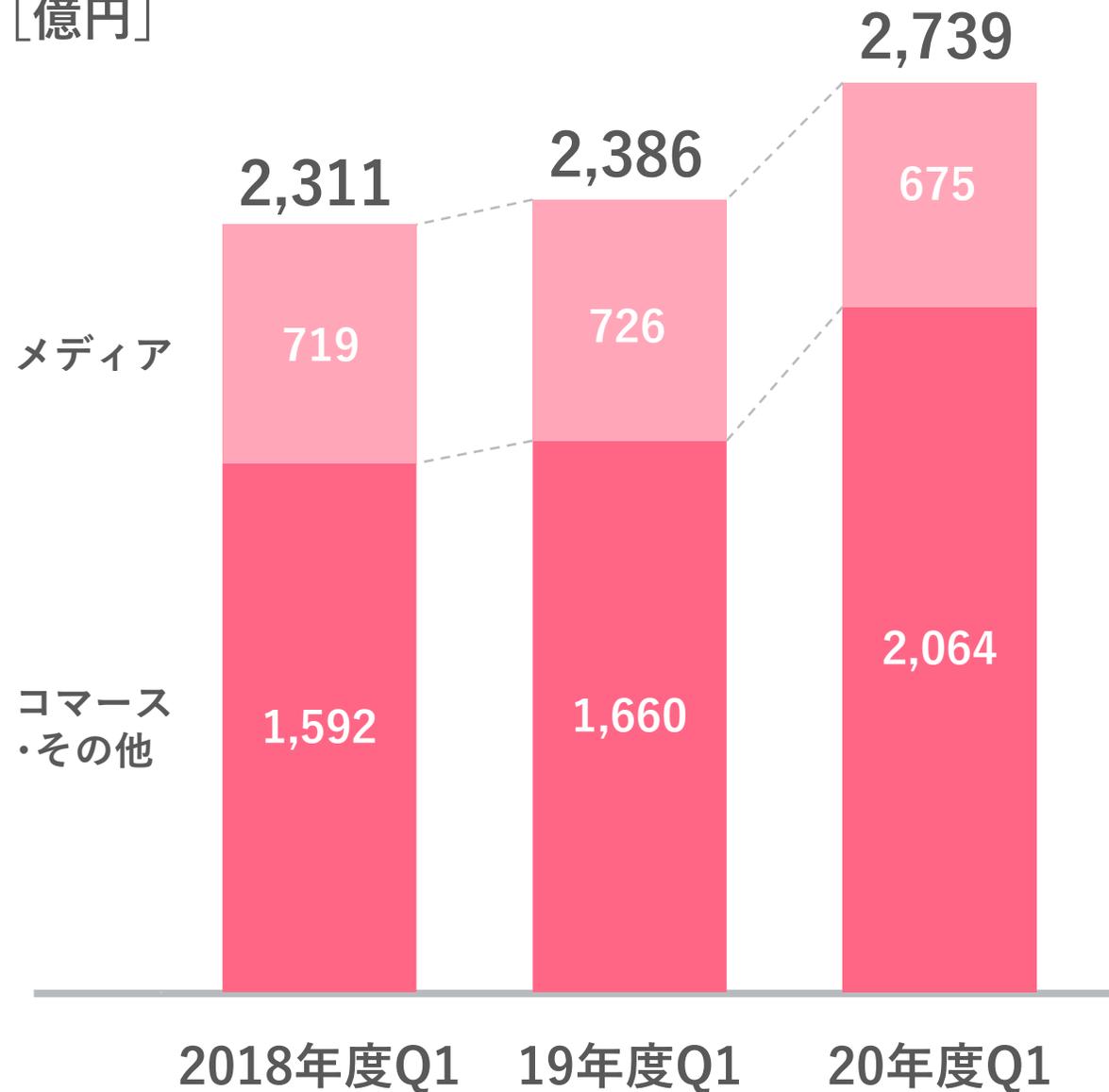
法人事業 テレワーク需要動向



(定義) インターネットVPNアクセス：外出先などでもPCやスマートデバイスから安全にお客さま社内システムへアクセスできるサービス
「UniTalk(ユニトーク)」：Microsoft Teamsの通話機能の拡張サービス

ヤフー事業 売上高

[億円]

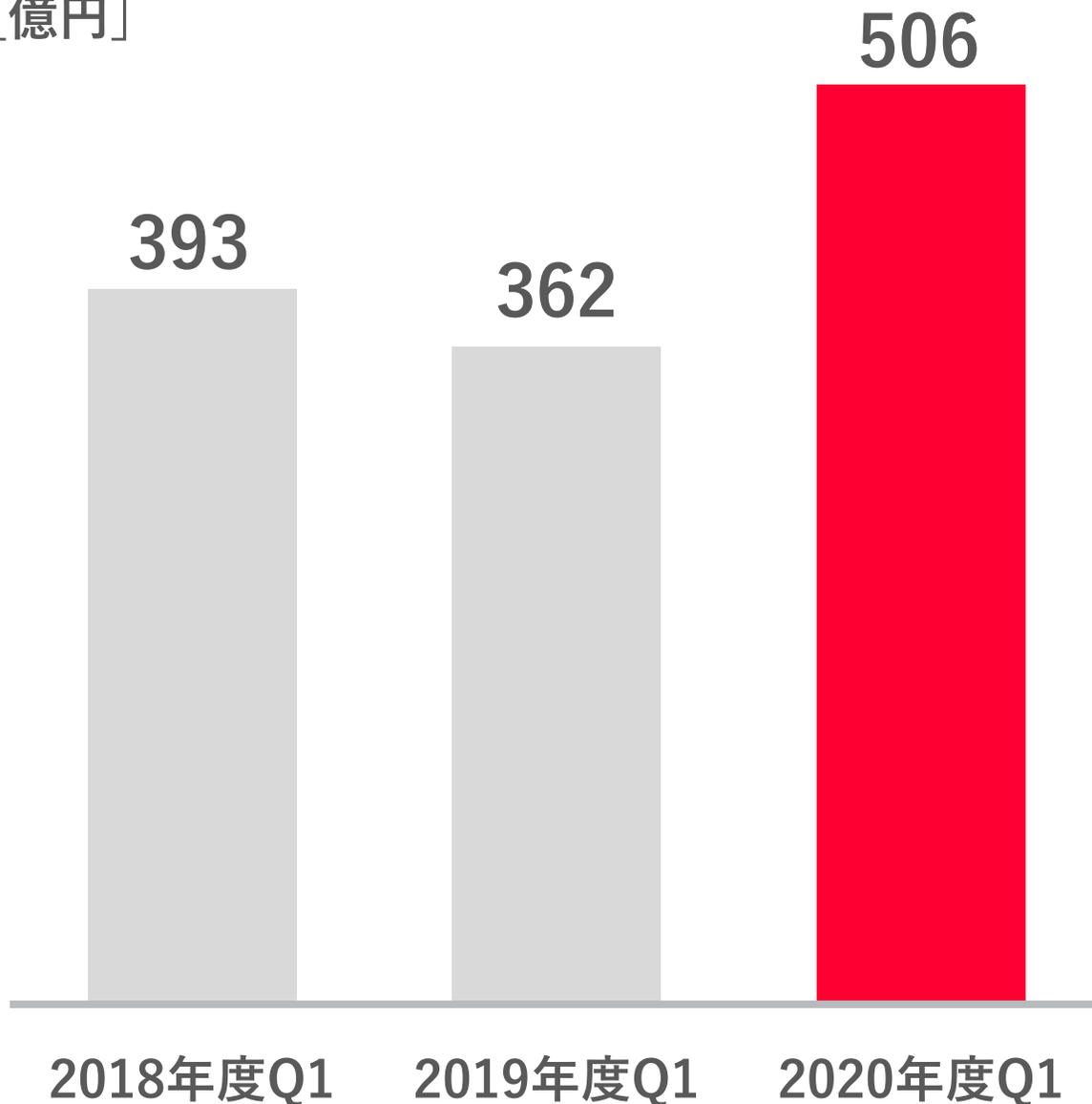


15%増収

(注) 2020年4月に一部のサービスおよび子会社を「コマース」から「メディア」へ移管したことに伴い、2019年度に遡って修正を反映しています。

ヤフー事業 営業利益

[億円]



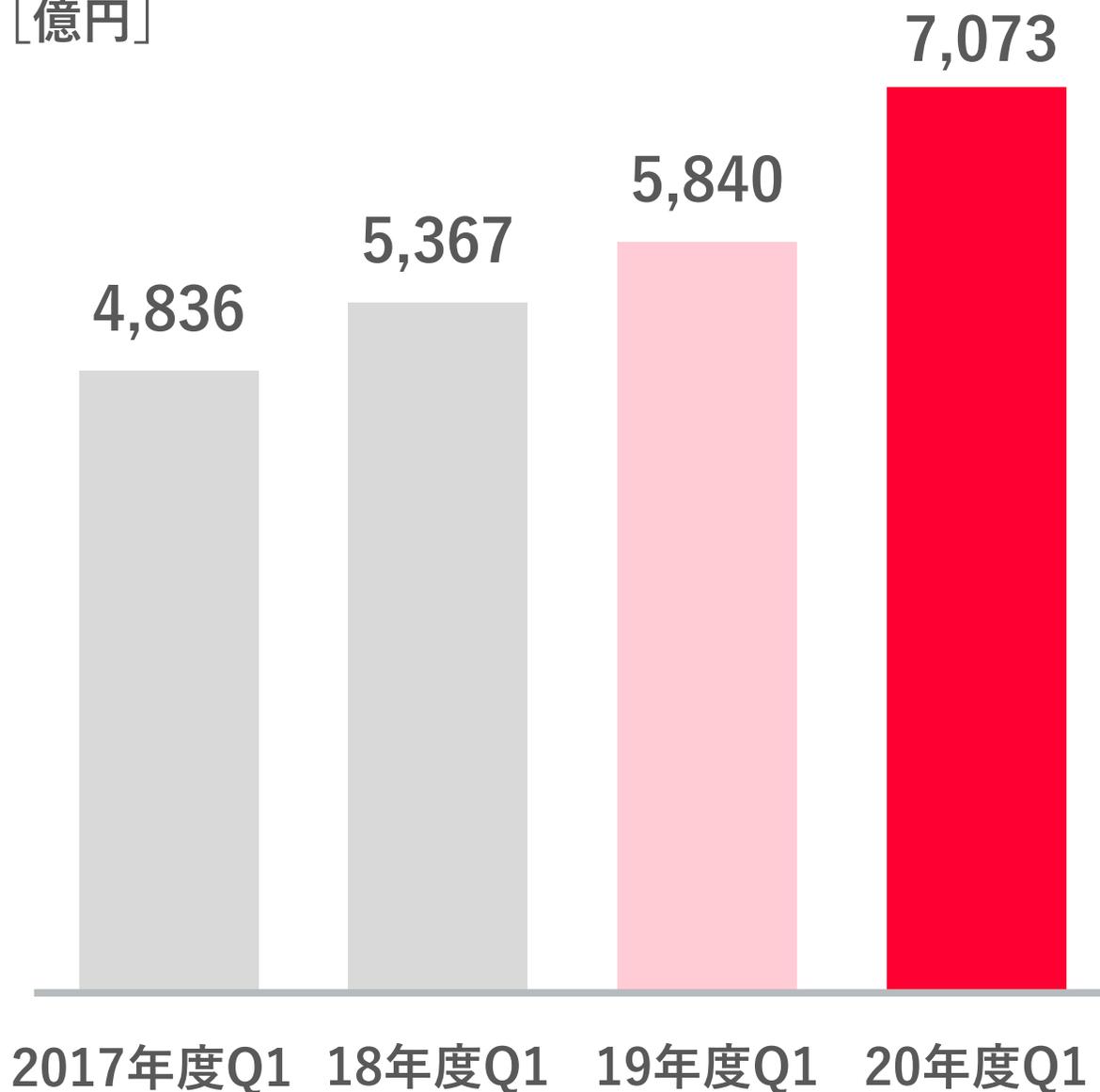
コマースの伸長により
40%増益

<前年同期比 増減要因>

ZOZO子会社化	+70億
eコマース利用増	+70億
コスト削減効果	+30億
広告出稿減	▲30億

ヤフー事業 eコマース取扱高

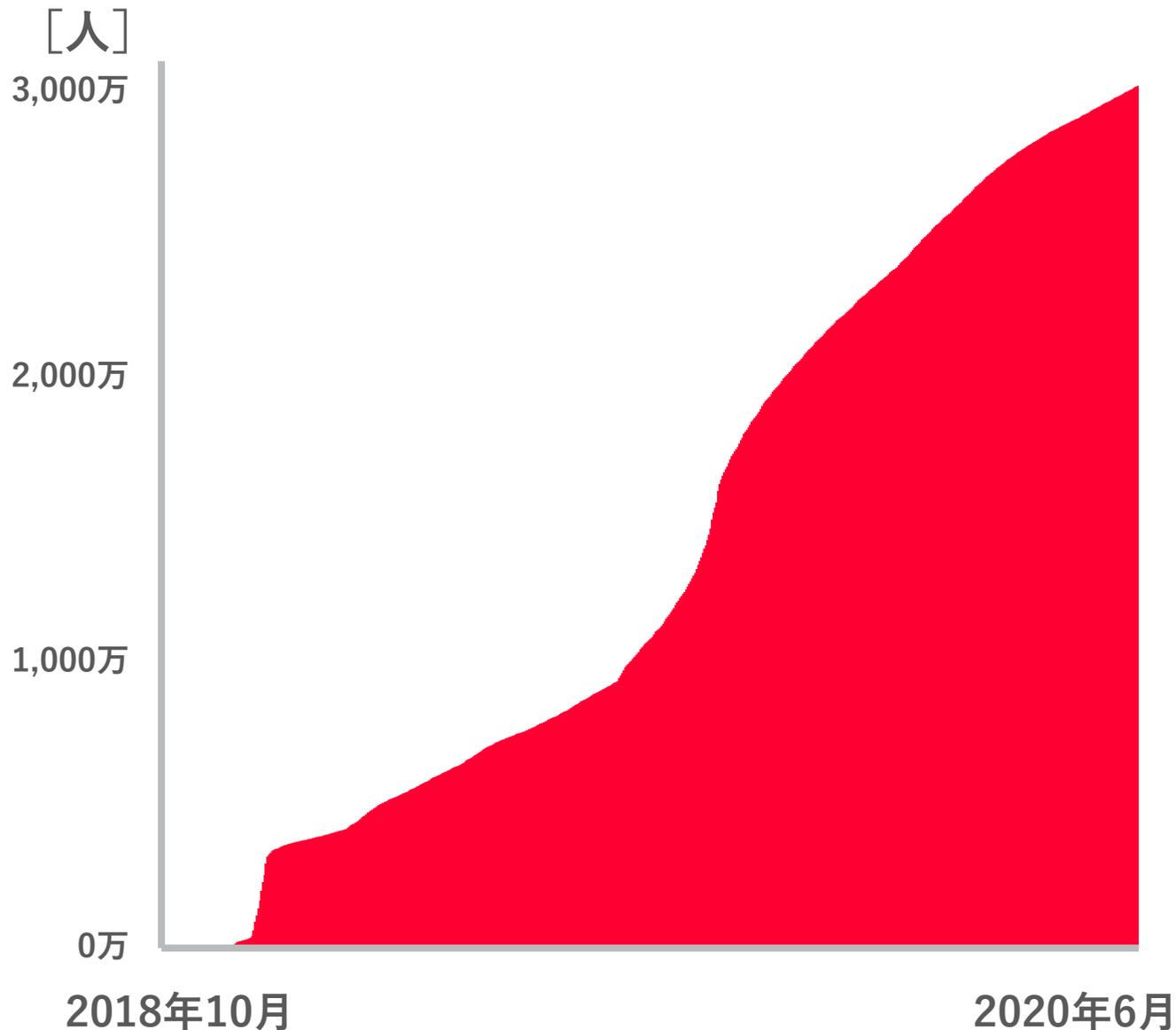
[億円]



21%増

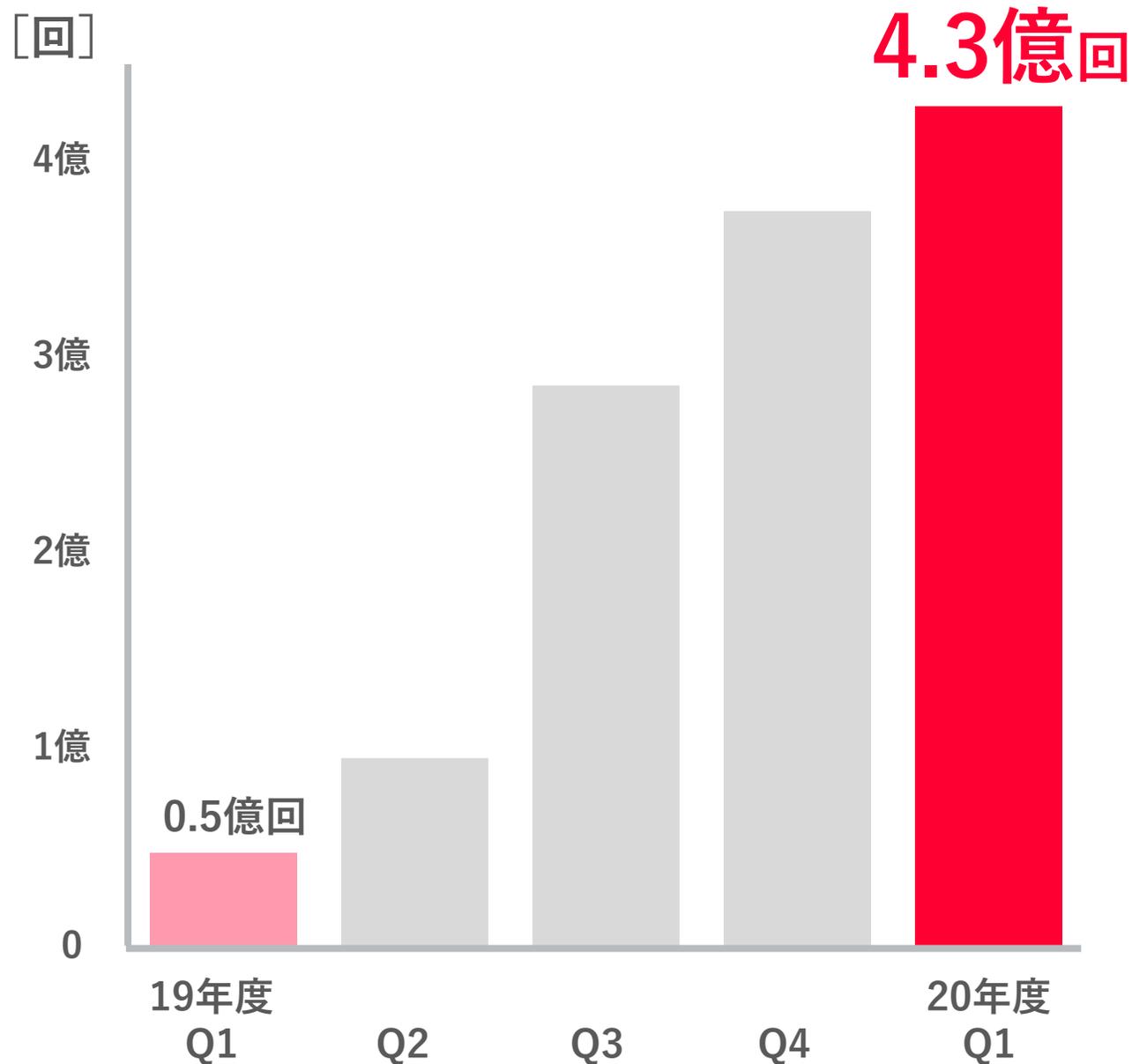
(ZOZO子会社化影響、「PayPayモール」など)

「PayPay」登録ユーザー数 (累計)



ユーザー数
3,000万人突破
(2020年6月)

「PayPay」決済回数 (四半期累計)



1年間で決済回数

9倍

2020年度第1四半期 連結業績

[億円]

	2019年度 Q1累計	2020年度 Q1累計	増減	増減率
売上高	11,649	11,726	+78	+1%
営業利益	2,689	2,799	+111	+4%
純利益	1,648	1,521	▲127	▲8%
調整後 フリー・キャッシュ・フロー	1,590	2,363	+773	+49%

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

(定義) 調整後フリー・キャッシュ・フロー＝フリー・キャッシュ・フロー±ソフトバンクグループ株式会社との一時的な取引+(割賦債権の流動化による調達額－同返済額)。Zホールディングス株式会社を除きます。

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank